

前原みなみ人権だより

NEWS FROM HUMAN RIGHTS



(第78号) 令和8年3月1日発行
糸島市人権・同和教育推進協議会
前原南支部 ☎324-1763

令和7年度の取り組みを終えて

人権・同和教育推進事業の活動に日頃より校区の皆様方の温かいご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

市同協前原南支部では、「人権感覚の息づく校区づくり」を目指し、地域に根差した特色ある啓発活動を目標に取り組んできました。

7月に「人権講演会」・「街頭啓発」、10月「フィールドワーク」、11月「文化祭」(パネル展示)、12月「人権映画祭」・「人権作文」・「標語発表・表彰」・「街頭啓発」、1月「雷山空襲についての学習会」、また小中学校の人権学習参観、行政区研修会等を実施することができ、人権・同和教育の推進啓発することができました。地道な活動ではありますが継続していくことで、人権問題の解消に努めていきたいと思っております。今後ともご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

市同協前原南支部 支部長 豊田 恵子



7月 人権講演会



街頭啓発の様子 (JA ポルタ前にて)

令和7年度の主な事業

月	事業内容	参加人数等
5月	前原南支部総会	27名
7月	人権講演会「ジェンダー平等って何ですか？」講師 塩田 洋明さん 街頭啓発(JA ポルタ前・筑前前原駅南口)	38名 23名
8月	人権標語募集	433点
10月	フィールドワーク (鞍手郡小竹町・田川市) ～人権の視点から戦争の非人間性、愚かさ、不条理さ、悲惨さを学ぶ～	16名
11月	みなみフェス(パネル展示)	1200名
12月	人権映画祭「最高の人生のを見つけ方」 人権作文・人権標語表彰式 (14名表彰) 街頭啓発(JA ポルタ前・筑前前原駅南口) 前原南小人権学習参観 前原中学校人権学習参観	90名 80名 14名 5名 6名
1月	常任委員学習会 ～雷山空襲を次の世代に伝えるために～ 講師 吉丸 泰生先生	12名
4～3月	常任委員会(年8回)	100名
7～2月	人権・同和教育行政区研修会(8行政区、2サロン実施)	257名

10/15

前原南支部フィールドワーク

～戦争の非人間性、愚かさ、不条理さ、悲惨さを学ぶ 高度経済成長期を支えた石炭産業の歴史に触れる～

*兵士・庶民の戦争資料館
*田川市 石炭歴史博物館

兵士・庶民の戦争資料館を視察して

参加者アンケート一部抜粋

- ・絶対に戦争を起こしてはいけないと強く感じた。
- ・召集令状（赤紙）や千人針等、実際に見て、手に触れたのは初めてだったので貴重な体験になりました。
- ・館長の熱心な説明に平和希求の願いを感じるとともに平和ボケしている自分たちの姿を反省するよい時間となった。
- ・ガラス越しではなく実際に触れ、臭い、感じることで歴史を自らの命とつながるものとして実感しました。
- ・6000点の収集品があり、びっくりした。

田川市石炭歴史博物館

- ・石炭と私たちの暮らしの変遷が良く理解できました。ヤマの暮らしが男女平等の関係で成立していたことや炭住での人々の共同体意識、助け合い等の絆のある生活ぶりに学ぶところが多くありました。
- ・戦後高度経済成長を支えたエネルギーの重責を果たした石炭産業の成長経緯や採炭技術を一堂に集めた貴重な展示や遺跡に感銘を受けた。



写真上：兵士・庶民の戦争資料館

写真下：田川市 石炭歴史博物館



前原中学校 人権学習参観

12月11日(木)



1年生「夕やけがうつくしい」（識字学級）
 2年生「モマルくんと考えよう！2」（部落差別）
 3年生「統一応募用紙」（就職差別）をテーマに学習が行われました。
 3年生の学習では、就職の際に使われる「社用紙」を実際に見て、「適正・能力が選考の基準」であるために、選考には必要ではないと考えられる事項について話し合いました。

常任委員学習会

1月15日(木)



「雷山空襲を次の世代に伝えるために」と題して吉丸泰生先生に講義していただき雷山空襲についての勉強会を行いました。

昭和20年6月19日午後11時30分頃に空爆があり、8人死亡・25家屋が燃えて雷山小学校も全焼したと聞いて、改めて戦争の悲惨さを認識しました。